

第**41**期
報 告 書

平成29年5月16日から平成30年5月15日まで

銚子丸通信

おもてなしの
心を添えて



株式会社 銚子丸

証券コード 3075

業容拡大と企業価値の増大に向けた 新たな取り組み

- 平成29年11月 **「良質な外食体験」** 経営理念の具体的な提供方法として実践開始
ビジネス誌発表の「外食チェーン全格付け」にて顧客総合満足率第1位を獲得
この評価に恥じない「良質な外食体験」の提供で経営理念の実現に邁進
- 「働き方改革」** 本格的に着手
営業時間の短縮、営業形態の変更、臨時休業日の設定により労務改善を推進
- 平成30年3月 **「クレジットカード」** 全店に導入
顧客利便性を優先し全店に導入
普段現金を持ち歩かないお客様の来店動機高揚とインバウンド対応
- 平成30年6月 **「出張回転寿司サービス」** 千葉県内の老人ホーム施設にてサービス開始
全長10メートルの持ち運びのできる回転レーンを使用したケータリングサービスを開始
- 平成30年10月 **「都市型コンパクト店」** 第1号店を東京都千代田区大手町に出店予定
- 平成30年11月 **「商業施設内テナント出店」** としてJR松戸駅のレストラン街に出店予定
- 平成31年5月期 **2本目の柱となる事業の開拓**
「ある程度の市場規模が見込まれること」「当社のポリシーや経営理念の共有」を条件として、魚以外の食材をメインとした外食事業の検討に着手

新しい提供スタイルへの挑戦

経営理念

人間の生命を支える最も基本的な飲食を通し、
より多くのお客様に、よりおいしく・よりよいサービス・より速くをもって
私達の「真心」を提供し
お客様の「感謝と喜び」を頂くことを私達の使命 と致します。

銚子丸ブランド戦略の推進

安全安心で
コストパフォーマンスの高い商品の提供



家庭的なサービスが
あふれる良い雰囲気を提供



清掃の行き届いた
清潔空間の提供



良質な外食体験を通して
お客様に**生活の豊かさ**と
幸福感を実感していただきたい。

企業体質の強化と 新市場開拓のために！



代表取締役社長 石田 満



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに、平成30年5月期事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当事業年度におけるわが国の外食産業は、依然として消費者の根強い節約志向に加え、食材全般の価格の高騰傾向が止まず、また、労働需要の逼迫に伴う労働単価の上昇及び人材確保が大きな課題になる等、経営環境はより厳しい状況で推移しました。

このような状況において、販売促進につきましては、「アイルランド産天然本まぐろ」や、「天然南まぐろ」など、当社の主力商品である「まぐろ」にこだわった「高品質」かつ「お得感」のあるイベントメニューの充実と、「初夏の旬」や「秋の幸を握る！」など時節の旬の食材にこだわった銚子丸らしい商品開発に努め、お客様の来店動機高揚を図ってまいりました。

店舗開発については、大網白里店（平成30年3月）を新規に出店しました。一方で限られた人的資源の有効活用を図るために、四つ木店（平成29年5月）、上福岡店（平成29年6月）及びあざみ野店（平成30年1月）を閉店しました。この結果、当事業年度末の店舗数は91店舗になりました。また、既存店強化のために、席数の増加・作業性の向上・イメージアップを重視した改装を9店舗で実施し、特に下期は「高速レーン」の延長・導入に加え、「セルフオーダーシステム」「オートウェイターシステム」の新規導入を延べ41店舗で実施するなど、サービスと労働生産性向上のための機械化・省力化の推進に注力しました。

売上につきましては、夏期の長期天候不順と冬期の度重なる降雪による客数減、店舗勤務者の人手不足による新規出店の遅れ、及び平成29年11月より本格的に取り組みを開始した店舗勤務者の労務改善を目的とした一部店舗の営業時間短縮や臨時休業日の設定など

厳しい経営環境が続きました。一方で、下期はビジネス誌への掲載やテレビ番組での紹介等があり、これを背景としたWEB媒体による販売促進強化等が奏功したことから、特に後半にかけて堅調に推移しました。この結果、当事業年度における売上高は187億89百万円（前期比3.8%減）となりました。

利益面については、売上高の減少に加え、食材全般の価格の高騰で売上原価率が上昇しました。一方で、社会保険加入対象者の拡大に伴う法定福利費や、既存店強化を目的とした改装に係る修繕費等が増加する中、水道光熱費（同△48百万円）をはじめとする経費削減に努めたものの、販売費及び一般管理費は前期比△1億62百万円（同1.6%減）に留まりました。この結果、営業利益は5億80百万円（同37.1%減）、経常利益6億15百万円（同35.8%減）となりました。また、業績不振店舗に係る減損損失1億50百万円を特別損失に計上したこと等によって、当期純利益は3億5百万円（同33.1%減）と大変厳しい結果となりました。

今後も、消費者の根強い節約志向の継続、仕入価格の高騰傾向、採用難に伴う人手不足の逼迫等、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況の下、「私達の真心を提供し、お客様の感謝と喜びを頂く」という経営理念を軸に、企業体質の一層の強化と業容拡大のために、当社の対処すべきテーマを次の4項目を重点課題に掲げ実践してまいります。

I．銚子丸スタンダードの向上

「私達の真心を提供し、お客様の感謝と喜びを頂く」という経営理念を本当の意味で実現できれば、どんな時代になろうともお客様のご支持は頂けるも

のと信じます。そこで改めて、『理念の実行方法』として“**良質な外食体験**”を提供することを定め、劇団員全員で実行に努めることといたします。銚子丸での“良質な外食体験”を通して、お客様に生活の豊かさと幸福感を実感していただければ、当社の経営理念が実現できるものと考えます。この“良質な外食体験”とは、『安全安心でコストパフォーマンスの高い商品の提供』『家族的なサービスがあふれる良い雰囲気の提供』そして『清掃の行き届いた清潔空間の提供』の3つを言います。

おいしいものをリーズナブルな価格で提供するだけでは、ご満足いただけない時代になってきました。銚子丸劇団員一丸となって、“良質な外食体験”の提供に努め、経営理念の実現に向けて邁進してまいります。

II．人財の確保と育成強化

採用氷河期といわれる中、「まずは働きやすい環境づくり」を目的とした働き方改革の推進により、休日を含めた労働時間が正確に管理できるようになりました。あわせて、人事改革の取り組みとして、給与制度の再構築に着手しました。この2つの改革の推進により、業容拡大に必要な人財の確保を可能とする環境づくりを目指します。

また、社内教育プログラムとして「銚子丸立志塾」を開設します。具体的には、いつでも誰でも勉強できるように、WEB動画配信による教育プログラムを作成中です。もう1つの課題である実地訓練については、創意工夫も含めて内容を検討中です。

以上の取り組みにより、これまで以上高度かつ計画的な採用及び人財育成を実践してまいります。

Ⅲ. 収益基盤の強化

ポイント① 効果的な改装と機械化・省力化の推進

- ◆ 改装については、
 - ◆ 売上向上（席数を増やす等）
 - ◆ オペレーションの効率化（機械化・作業動線の短縮等）
 - ◆ イメージアップ（お客様にリニューアルを十分感じてもらう）
 - ◆ 顧客利便性の追求
- この、4つについて効果的であるかを精査し、計画性をもって実行してまいります。

また、「銚子丸らしさ」を損なわないことを前提条件として、セルフオーダーシステム（タッチパネル）やオートウェイターの新規導入等、機械化・省力化を積極的に推進し、サービス及び労働生産性の向上を図ってまいります。



大網白里店に導入のオートウェイターシステム

ポイント② 店舗営業管理の強化と計画的なスクラップ&ビルド

『FL』すなわち原価・人件費、及び店舗経費を細部まで標準化し、目標数値に対して繰り返し徹底的に管理してまいります。

また、従来なかなか踏み切れなかった不採算店舗の退店について、その基準を見直し、当事業年度においては3店舗を退店しました。今後も計画的なスク

ラップ&ビルドによる限られた人財の適正配置と有効活用で、収益基盤の強化を図ってまいります。

Ⅳ. 新市場開拓の推進

ポイント① 出店方針

従来のロードサイド中心のドミナント戦略に加えて、「都市型コンパクト店」や「商業施設内テナント出店」といった新しい寿司の提供スタイルに挑戦してまいります。

あわせて、外販強化や「出張回転寿司サービス」の展開により、新市場の開拓を推進してまいります。

ポイント② 積極的なパブリシティと販売促進・広告宣伝施策の充実

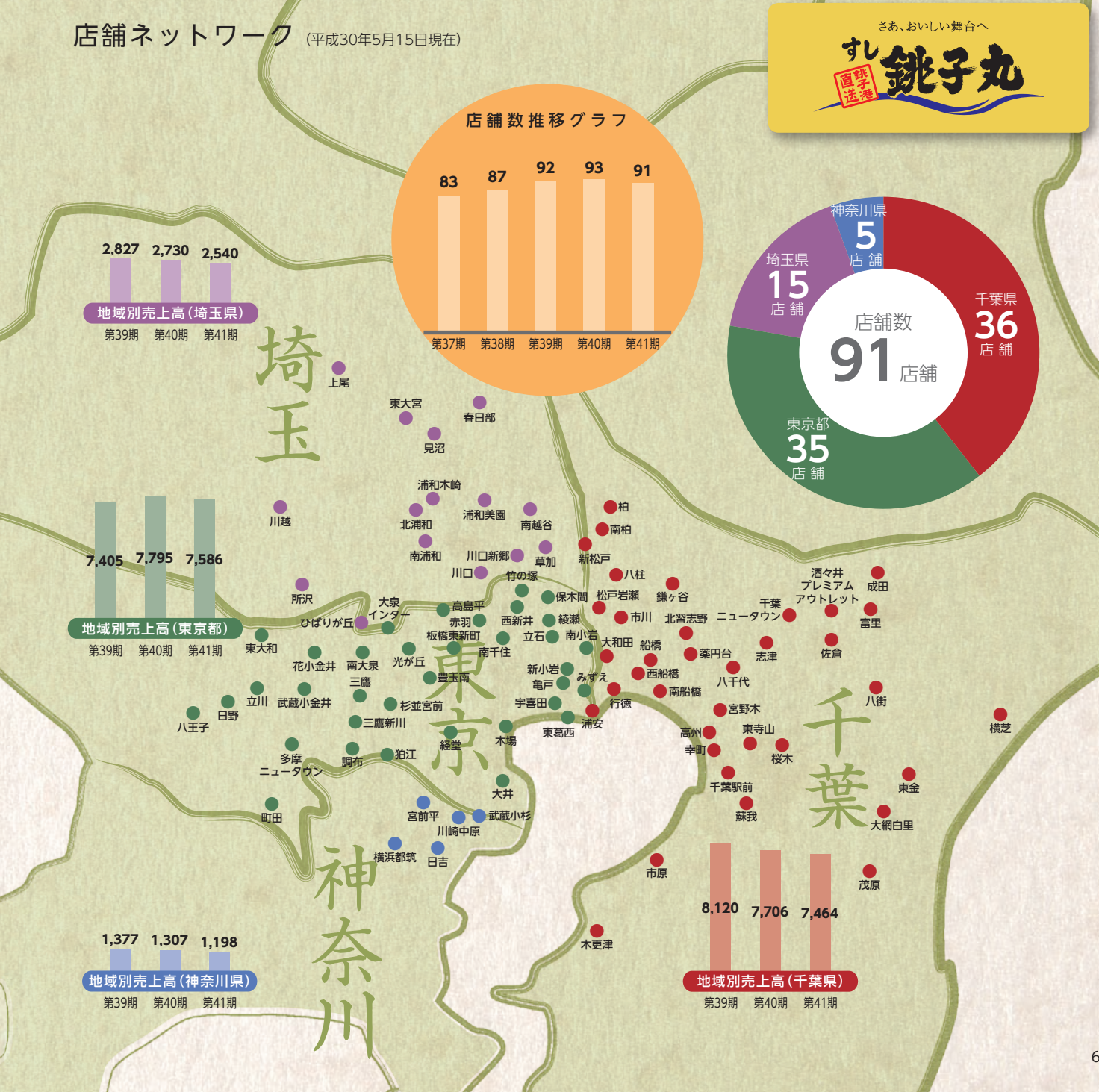
ビジネス誌への掲載やテレビ番組での紹介等を背景としたWEB媒体による販売促進強化が奏功した事例を受け、比較的若い世代、ファミリー層、リピート顧客及び新規顧客の集客には、積極的なパブリシティとWEB媒体の活用強化が必要不可欠であると認識しております。

今後も、LINE・グルメサイト・SNSといったWEB媒体を活用した販売促進・広告宣伝施策の充実により、来店動機の高揚を図ってまいります。

以上の取り組みにより、当社の収益体質の強化と新市場の開拓を推進し、強固な経営基盤の確立と企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく申し上げます。

店舗ネットワーク（平成30年5月15日現在）

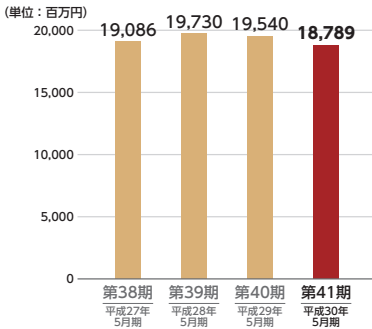


業績サマリー

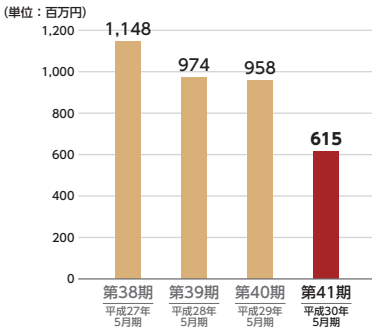


財務ハイライト

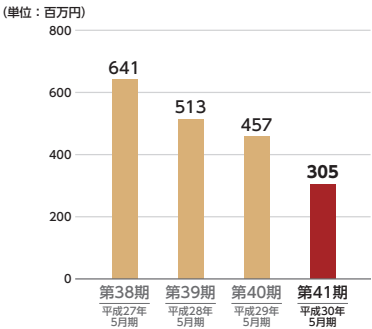
売上高



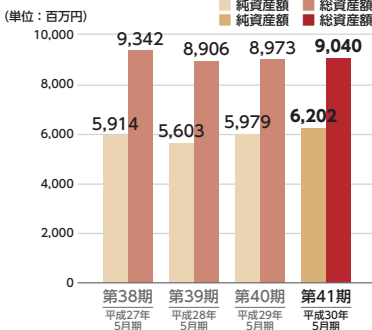
経常利益



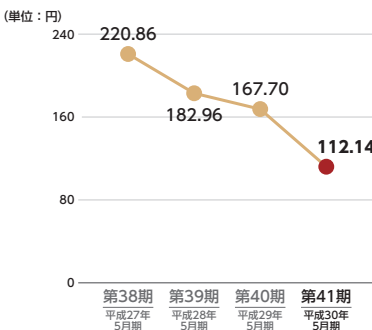
当期純利益



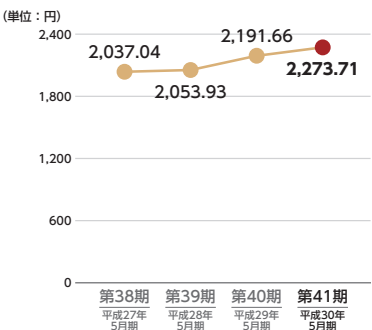
純資産額／総資産額



1株当たり当期純利益

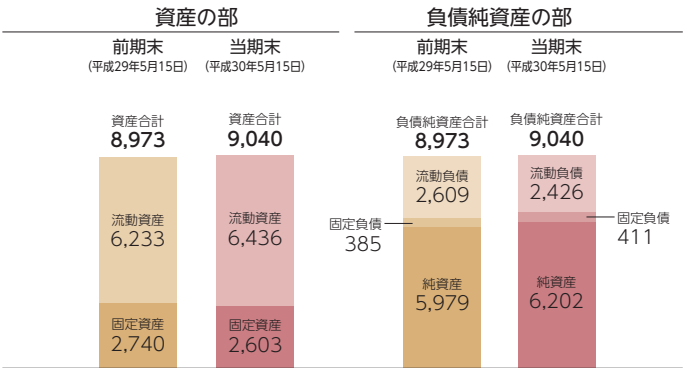


1株当たり純資産額



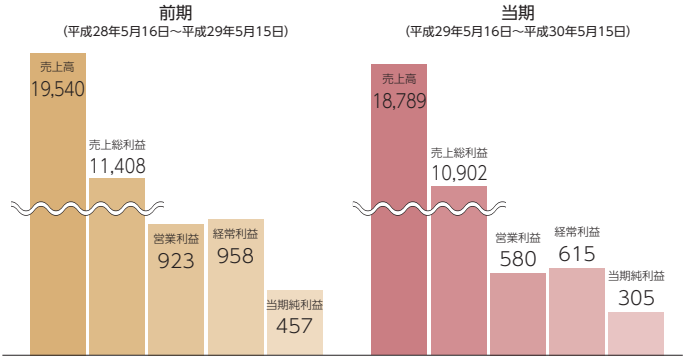
貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)



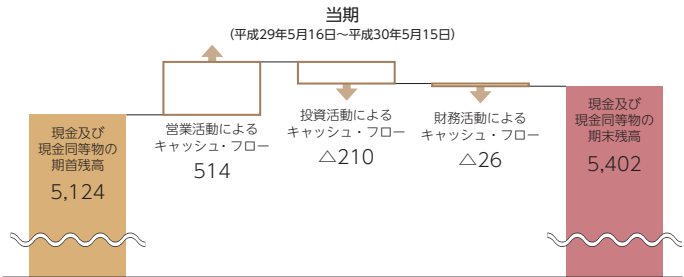
損益計算書（要旨）

(単位：百万円)



キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)



資産のポイント

流動資産は、主に現金及び預金が増加したことから、前事業年度末に比べ2億3百万円増加しました。

固定資産は、主に有形固定資産が減少したことから、前事業年度末に比べ1億37百万円減少しました。

負債純資産のポイント

流動負債は、主に未払法人税が減少したことから、前事業年度末に比べ1億83百万円減少しました。

固定負債は、主にリース債務が増加したことから、前事業年度末に比べ25百万円増加しました。

純資産は、繰越利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ2億23百万円増加しました。

損益計算書のポイント

売上高は187億89百万円（前事業年度比7億51百万円減少）、営業利益は5億80百万円（同3億43百万円減少）、経常利益は6億15百万円（同3億42百万円減少）、当期純利益は3億5百万円（同1億51百万円減少）となりました。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

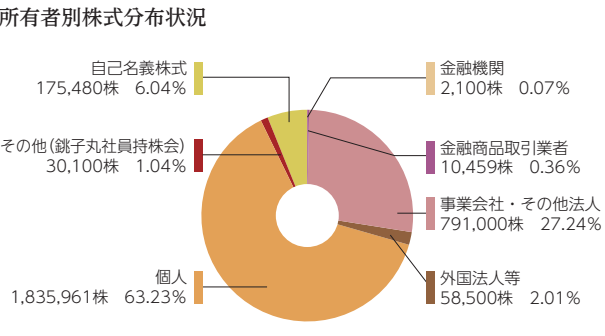
現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末に比べ2億78百万円増加しました。

会社概要／株式の状況

会社概要（平成30年5月15日現在）		
商号	株式会社 銚子丸 Choushimaru Co.,Ltd.	
設立	昭和52年11月	
資本金	3億1,595万円	
代表者	代表取締役社長 石田 満	
本社所在地	〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田二丁目39番地	
事業内容	グルメ回転寿司事業	
決算期	毎年5月15日	
店舗数	91店舗（千葉県：36 東京都：35 埼玉県：15 神奈川県：5）	
従業員数	正社員 473名 パート・アルバイト 1,114名（平均人員）	
取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社千葉銀行	

役員構成（平成30年8月2日現在）		
代表取締役社長	石田	満
取締役会長	堀地	ヒロ子
常務取締役	堀地	元
取締役	仁科	善生
社外取締役監査等委員	山口	忠則
社外取締役監査等委員	中嶋	克久
社外取締役監査等委員	守屋	達雄
社外取締役監査等委員	大島	有紀子

株式の状況（平成30年5月15日現在）		
発行可能株式総数		10,800,000株
発行済株式の総数 （自己株式175,480株を含む）		2,903,600株
株主数		5,944名
大株主（上位10名）		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社オール・エム	784,000	28.74
堀地 かなえ	459,720	16.85
堀地 ヒロ子	384,880	14.11
堀地 元	48,000	1.76
銚子丸社員持株会	30,100	1.10
JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	10,000	0.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	3,900	0.14
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,600	0.13
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE COLONIAL FIRST STATE INVESTMENTS LIMITED	3,200	0.12
BBH FOR SEI INST INV TR-SEI GL MG VOLATILITY FD/ACADIAN ASSET MGT LLC	2,900	0.11
※当社は、自己株式（175,480株）を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。 ※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。		



インフォメーション

株主優待のご案内

第41期末（平成30年5月15日）現在で所有株式数100株以上を保有の株主の皆様に、すし銚子丸・百萬石の全店舗でご利用いただける「株主優待お食事券」（有効期限：平成31年3月15日）を同封させていただきます。

◆所有株式数100株以上200株未満の株主様

2,500円分

◆所有株式数200株以上の株主様

5,000円分

- 株主優待お食事券に替えて「特選品」をご希望の場合
- 所有株式数が100株以上200株未満の株主様は、以下特選品から選択いただけます。
 - 「甘塩たらこ（400g相当）」
 - 「佃煮詰合せ（全6品）」
- 所有株式数が200株以上の株主様は、以下特選品から選択いただけます。
 - 「特選辛子明太子&甘塩たらこ（800g相当）」
 - 「佃煮詰合せ（全9品）」

●引き換え方法につきましては、同封の案内をご参照ください。
●ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-126651 銚子丸特選品事務局

※受付期間：平成30年8月6日から平成30年9月28日まで
※受付時間：土・日・祭日を除く9：00から17：00まで
※なお、株主優待特選品は限定生産のため受付からお渡しまで日数がかかります。
※誠に勝手ながら、受付期限を平成30年9月28日までとさせていただきます。

「銚子港直送」の表示について



「銚子港直送」の表示は、当店屋号の由来であり、新鮮かつおいしい食材をお客様に提供するという企業使命を表す表示です。取扱品目の大部分が銚子港という意味ではございません。銚子港直送の食材は、さば・いわし・金目鯛等の地魚ですが、日によって異なります。



株主メモ

上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所JASDAQスタンダード市場
証 券 コ ー ド	3075
事 業 年 度	毎年5月16日から翌年5月15日まで
定 時 株 主 総 会	毎年8月
基 準 日	毎年5月15日
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.choushimaru.co.jp) に掲載 いたします。なお、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株主優待制度について
毎年5月15日ならびに11月15日現在の株主様に対し、優待お食事券を贈呈いたします。
詳細につきましては、当社ホームページのIR情報をご覧ください。
ホームページIR情報：<http://www.choushimaru.co.jp/ir/>

株式会社 銚子丸

〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田二丁目39番地
TEL 043-350-1266 FAX 043-350-1300

銚子丸ホームページ

銚子丸

検索



<http://www.choushimaru.co.jp>

